

議題 1 令和 6 年度の状況について

1 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
4 月	26 日間	4, 063 人	企画展「めでたきとり」開始（4/27～）
5 月	27 日間	4, 642 人	
6 月	26 日間	2, 896 人	企画展「めでたきとり」終了（～6/9）
7 月	26 日間	3, 025 人	企画展「石器時代を生きる」開始（7/13～）
8 月	27 日間	3, 484 人	企画展「石器時代を生きる」終了（～8/25）
9 月	25 日間	1, 818 人	
10 月	27 日間	2, 880 人	企画展「土井利位」開始（10/5～）
11 月	26 日間	5, 379 人	企画展「土井利位」終了（～11/17）
12 月	24 日間	2, 430 人	
1 月	24 日間	2, 538 人	
2 月	23 日間	2, 206 人	
3 月	25 日間	3, 491 人	
合計	306 日間	38, 852 人	

8 月 4 日（開館 1, 567 日目） 累計 20 万人達成

2 企画展の開催

年に 3 回企画展を開催し、刈谷地域の歴史の学習やさまざまな歴史資料に触れる機会を提供。

(1) 開館 5 周年記念企画展「めでたきとり」

ア 会 期 4 月 27 日（土）～6 月 9 日（日）（開催期間 39 日間）

イ 観 覧 料 有料 一般 600 円（各種割引あり〔100 円引〕）

中学生以下、障害者及び付き添い 1 人は無料

ウ 観覧者数 4, 020 人 うち有料入館者 1, 758 人

エ 展示品数 59 件

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録（有料頒布、1 冊 2, 000 円）

カ イベント 講演会

・ 5 月 11 日（土）「愛知の鳥だより」

講師：加藤博俊氏（環境省公園指導員）（聴講 40 人）

・ 5 月 26 日（日）「近江八景の成立と展開ー落雁モチーフに注目してー」

講師：大原由佳子氏（文化庁文化財第一課）（聴講 39 人）

展示説明会

・ 4月28日（日）

講師：永井優香子（当館学芸員）（聴講12人）

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、鳥とのふれあい体験、愛鳥週間ポスター原画展等を実施

(2) 「石器時代を生きる」

ア 会 期 7月13日（土）～8月25日（日） （開催日数38日）

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 4,622人

エ 展示品数 563点

オ 印 刷 物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

カ イベント 講演会

・ 7月14日（日）

「縄文時代文化への夜明け―旧石器時代の文化変動を乗り越えて―」

講師：白石 浩之氏（愛知学院大学名誉教授）（聴講64人）

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、石器づくり体験、ナイトミュージアム、愛知教育大学連携イベント等を開催

(3) 「刈谷生まれの雪の殿さま 土井利位」

※文化庁「地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」による補助金を活用

ア 会 期 10月5日（土）～11月17日（日） （開催日数38日）

イ 観 覧 料 有料 一般600円（各種割引あり[100円引]）

中学生以下、障害者及び付き添い1人は無料

ウ 観覧者数 1,883人 うち有料入館者数1,121人

エ 展示品数 66件

オ 印 刷 物 ポスター、チラシ、解説パンフレット（外国語・子ども）

図録（有料頒布、1冊1,200円）

カ イベント 講演会

・ 10月6日（日）「天保の改革とはなんだったのか―その狙いと戦略―」

講師：荒木 裕行氏（東京大学史料編纂所准教授）（聴講47人）

・ 10月26日（日）「天保改革と土井利位―海防掛老中を中心に―」

講師：針谷 武志氏（別府大学教授）（聴講48人）

展示説明会

・ 10月12日（土）

講師：長澤 慎二（当館学芸員）（聴講19人）

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、雪の結晶製作体験等を実施したほか、キャプション等での外国語対応、愛知教育大学留学生モニターツアーを実施

3 常設展の開催

3ヶ月に1回程度展示替えを行い、刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開。

展示替えをした箇所を中心にギャラリートークを3回実施。

- (1) 展示替え 7月、9月、12月、3月
- (2) ギャラリートーク参加人数 延べ32人

4 歴史文化の教育普及

刈谷地域の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、歴史文化について学ぶ機会を広く提供。

(1) 歴史文化体験講座の開催

5月から令和7年2月まで月1回開催（年10回）

例：香木体験（お香入門）、クラフトバンドリースしめ縄づくりなど

参加人数 延べ180人

(2) 簡単工作の開催

土・日・祝日に開催。（夏季、秋季には一部平日開催）

参考：参加者数 延べ3,092人

(3) 市内小中学生の館内見学・体験学習の支援

・中学校1年生の「歴史ひろば」及びバックヤード見学（5月～7月）

他、子ども向けの歴史相談や体験講座

・子ども歴史体験講座、子ども歴史相談の実施

・アウトリーチプログラム

博物館の実物資料を教室へ持ち込み、指導主事が授業を行った。

「縄文時代の刈谷」、「戦争中の刈谷の様子」、「水野勝成」

（市内小学校15校のうち6校で延べ8回実施）

(4) ミュージアムシアターの上映

講座室にて「刈谷偉人伝」等のDVDを毎日上映。

(5) 古文書講座（初級編）の開催

初級編を令和7年1月から3月までの間、5回の連続講座を開催した。

修了者46人

(6) 歴博ゼミナールの開催

令和7年2月9日（日）開催「野田八幡宮所蔵の甲冑について」

講師：西岡文夫氏（文化庁認定選定保存技術保持者）（聴講87人）

(7) 刈谷の歴史講座・ふるさとガイドボランティア養成講座の開催

11月から12月までの間、5回の連続講座を開催（うち3回は刈谷の歴史に関する講座）※歴史に関する講座のみの受講も可とし、ガイド会員含む受講希望者を広く受け入れた。

（受講者5人、うちガイドボランティア入会者2人）

（講座のみ受講23人、うちガイドボランティア会員9人）

(8) ミニ展示

「昭和 100 年記念 教えてください！昭和のおもいで～来館者とともに作る昭和のおもいで博物館～」令和 7 年 3 月 20 日（木）～4 月 13 日（日）に、1 階講座室にて、昭和に関する刈谷市内の写真、家庭で使用されていた道具展示、映像視聴コーナー、昭和の思い出等を付箋に書いて貼る参加型展示を行った。

(9) 出前講座

市民グループや団体等からの依頼があったときに出張して講座を行った。

(10) 博学連携ニュースの発行（年 2 回）

学校向けに、社会科教育研究会での利用や、アウトリーチ活動の情報を提供した。

5 博物館事業の啓発・広報

博物館事業（企画展等展覧会や普及活動等）の啓発や広報等を行った。

(1) 刈谷市歴史博物館ホームページ及びX（旧 Twitter）の運営

(2) 市民だよりへの情報提供

企画展や関連イベント、歴史体験講座の案内等随時掲載。

博物館収蔵品の紹介（歴史散歩、かわら版、月 1 回）

(3) 博物館ニュースの発行

企画展の案内や企画展・収蔵品に関する小論等を掲載。

年 3 回、4 月、7 月、10 月に発行（Vol. 15 - 17）

(4) 博物館かわら版の発行（年 3 回程度）

企画展やイベント周知用のかわら版を制作し、小学校に配布した。

(5) 令和 5 年度年報の発行（10 月）

(6) 研究紀要の刊行（令和 7 年 3 月発行）

各自の専門分野を生かし、博物館資料や刈谷の歴史に関する調査・研究を行った。

その成果の一部を『刈谷市歴史博物館紀要』第 5 号にて発表した。

・論文「天保改革期における老中への視線」長澤慎二

・資料紹介「松平忠房「私覚書」翻刻（二）止」山下智也

・報告「刈谷市指定文化財「泉田古墳出土品」について」鵜飼堅証

(7) 博物館要覧の刊行（令和 7 年 3 月発行）

(8) オリジナルグッズの制作・販売

クリアファイル・メモ帳等を販売。企画展に合わせポストカード等の製作及び受託販売。

6 博物館資料の収集・保存・管理

(1) 収集

資料収集方針に基づき、寄贈・寄託資料受入。刈谷の歴史に関わる重要な資料を資料購入要綱に基づき、古書店等から購入した。

寄贈 13 件 / 寄託 1 件

購入資料

典籍	『尾陽古戦場書拔 全』	1 点
浮世絵	「わる者酒吞次 杢作娘はま路他 三枚続」	1 点
浮世絵	初代歌川広重「五十三次名所図会 池鯉鮒」	1 点
浮世絵	二代歌川広重「東海道五十三次 ち里う」	1 点
浮世絵	五粽亭（歌川）広貞「風流六歌仙絵」（六枚続）	1 件
浮世絵	三代歌川豊国（国貞）「見立三十六歌撰之内 在原業平朝臣」	1 点
古文書	土井利位書簡（跡部山城守宛）	1 点
古文書	土井利位書状（片桐主膳正宛）	1 点
古文書	刈谷市旧家文書一括（藤井清七関係資料）	1 件
刷物	碧海郡刈谷町松秀寺境内万燈式細工物	1 点
古書	観察絵本キンダーブック [第 14 輯第 10 編]	1 点
古文書類	宍戸弥四郎関係資料 ※資料購入検討委員会開催（書面）	1 括

(2) 保存・管理

館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）

収蔵品の修復及び什器の製作

修復資料

- ・掛軸「澤梅谷筆 山水図」
- ・掛軸「池田友八郎肖像画」

資料の燻蒸（1 回実施）

7 郷土資料館との連携

(1) 各種事業への職員相互派遣

週末開催イベント、市内小中学校見学対応など

(2) 広報活動

各種イベントの周知を連携して実施

(3) 展示への資料提供

資料の管理は歴史博物館で対応

8 市史資料の整理及び活用

(1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存

米清関係資料の調査・収集・整理、鈴木文三郎家文書、藤井清七家文書ほかの整理を行った。

(2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作

依佐美送信所文書（一部）

(3) 資料閲覧室における閲覧対応

入室者数 延べ 1, 3 1 7 人

閲覧者数 延べ 3 5 2 人

出納件数 延べ1, 104件

9 発掘調査出土遺物の整理及び活用

- (1) 出土遺物の注記・接合作業
- (2) 宅地建設等に伴う試掘、及び緊急発掘調査
- (3) 発掘調査報告書（宮東第1号貝塚発掘調査報告書（平成30年度調査））の作成（令和7年3月末刊行）

10 市内文化財の保護保存及び啓発

- (1) 文化財の修理及び維持管理事業への補助
 - ・市指定文化財「専光寺のクスノキ」樹勢回復
 - ・市指定文化財「井ヶ谷古窯跡群松根第3号窯」の除草
 - ・市指定文化財「地獄の絵巻物」修理（～令和7年度末）
- (2) 史跡めぐりの開催
年3回開催（刈谷ふるさとガイドボランティアの会へ委託）

11 その他の主な実施事業

- (1) 収蔵品管理システムの管理
歴史資料の一部公開に向けた写真撮影及びデータの整理を行った。
- (2) 資料収蔵庫の設計及び整備
城町図書館の解体予定に伴い、寺横町（市有地）に資料収蔵庫の整備を行うため、基本設計を実施。2月から工事開始。
- (3) 施設の管理
樹木管理、清掃業務、点検業務等を委託
- (4) 博物館実習
8月21日（水）～28日（水）（24日（土）～26日（月）は休日）の5日間実施
修了者 8人（愛知大学、愛知学院大学（2人）、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、京都文教大学、三重大学、立命館大学）
- (5) その他
 - ・登録博物館への新法による再登録（令和6年10月23日付）
 - ・公開承認施設の承認（令和7年2月12日付）
 - ・愛知県博物館協会理事館としての活動
 - ・文化庁等が主催する学芸員研修の受講
古文書保存基礎講座（2日間・九州国立博物館）
埋蔵文化財担当職員等講習会（3日間・山形県埋蔵文化財センター）
ミュージアムPR研修（3日間・オンライン）
 - ・能登半島地震における文化財レスキューへの参加（1週間×2人）

※日本博物館協会の呼びかけに応じる形

・市民からの調査・問合せ（レファレンス）対応

(6) 来館者アンケートの実施

・期間：通年【別紙１】

開館５周年記念企画展「めでたきとり」期間中アンケート【別紙２】

企画展「石器時代を生きる」期間中アンケート【別紙３】

企画展「雪の殿さま 土井利位」期間中アンケート【別紙４】

※回答者にオリジナルグッズを進呈（桜まつり期間中を除く通年）